

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	ビジネススキル 1	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	各回 必要に応じてレジュメ・資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	細川孝幸		実務経験の有無・職種	有（映像業務全般）	
学習目的					
この科目を受講する学生は、映像制作やテレビ放送に関してより映像の制作現場に特化した知識・技術のノウハウを得ることを目的とする。具体的には、提携企業の方を講師として、実務を想定したプリプロダクション、プロダクション、ポストプロダクションについて現場知識に基づいた授業を構成することで、カメラ、映像データ管理、送出業務、演出などに関する知識を深め、映像業界の現況知識を深めてほしい。					
到達目標					
この科目では、2年生の後期に学ぶ内容として、より「現場目線」を主なテーマとする。そのため、これまでの座学・実習で学んだ内容の集大成となるような授業構成で展開し、基礎を活用した応用的発想を得ることを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、プロジェクタと資料を主に使用する。授業展開では、それまでの授業内容をおさらいしながら、より知識を深められるように工夫をしていく。				
注意点	ノートは各自用意し、必ず授業内容のメモをとる。講師自身が現場の人であるため、社会に出る前に映像制作に関するあらゆる質問をしてほしい。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	レポート	80%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、受講態度などによって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	主な実習内容		主な各回の到達目標		
1回	概要		テレビ、放送業務の概要を理解する		
2回	カメラワークについて①		映像制作に必要なカメラワークの応用を理解する①		
3回	カメラワークについて②		映像制作に必要なカメラワークの応用を理解する②		
4回	コーデックについて①		データを取り扱う上での圧縮や変換の用語と意味を理解する①		
5回	コーデックについて②		データを取り扱う上での圧縮や変換の用語と意味を理解する②		
6回	ポストプロとは①		ポストプロダクション業務をより具体的に紹介し、知識を習得する		
7回	ポストプロとは②		テロップ制作の現状を理解、技術を習得する		
8回	ポストプロとは③		ポストプロダクションで行われる業務を知ることで、映像の制作工程・納品までをおさらいする		
9回	カメラの調整、フィルム		フィルム時代の作業現場を知り、付随するカメラ知識を得る		
10回	レンズの種類、ビデオ		ビデオ時代の作業現場を知り、付随するカメラ知識を得る		
11回	業界用語①＜撮影編＞		放送業界に関係する用語解説を習得する①		
12回	業界用語②＜撮影編＞		放送業界に関係する用語解説を習得する②		
13回	業界用語③＜スタジオ編＞		放送業界に関係する用語解説を習得する③		
14回	業界用語④＜スタジオ編＞		放送業界に関係する用語解説を習得する④		
15回	業界用語⑤＜後処理編＞		放送業界に関係する用語解説を習得する⑤		